

データヘルス計画書（健保組合共通様式）

計画策定日：平成27年3月31日

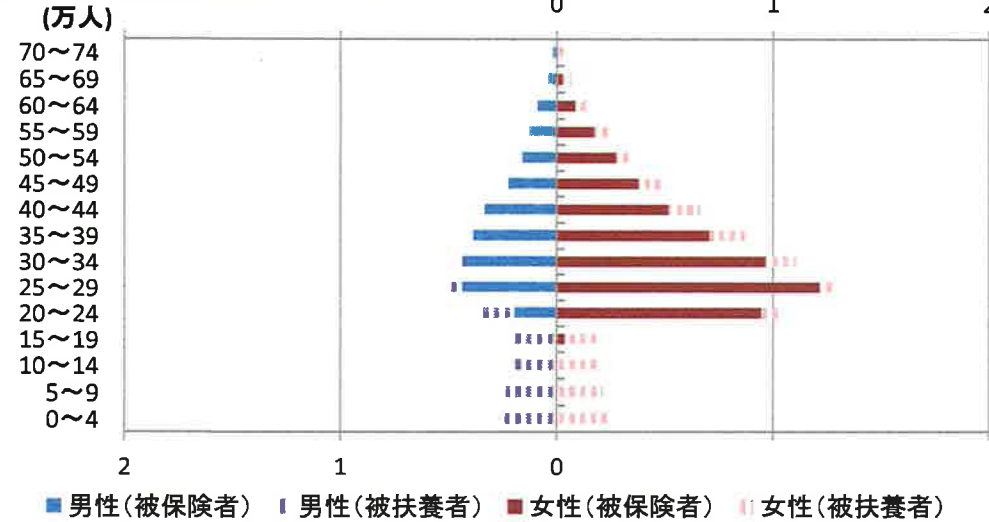
最終更新日：平成27年3月31日

東京化粧品健康保険組合

STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	24980
組合名称	東京化粧品健康保険組合
形態	総合
被保険者数 (平成27年度予算 注)	77,500名
* 特例退職被保険者を除く。	男性30.3% (平均年齢37.9歳) *
	女性69.7% (平均年齢33.8歳) *
特例退職被保険者数	0名
加入者数 (平成27年度予算 注)	103,504名
適用事業所数	493ヵ所
対象となる拠点数	4,500ヵ所
保険料率 (平成27年度 注) *調整を含む。	94.0%

	全体	被保険者	被扶養者
特定健康診査実施率 (平成25年度)	75.2%	84.2%	35.9%
特定保健指導実施率 (平成25年度)	12.7%	12.7%	13.2%



(注) 記載要領参照

加入者情報は平成27年2月末現在。

	健康保険組合と事業主側の医療専門職 (平成27年3月末見込み)		
	常勤	非常勤	
健保組合	顧問医	0	0
	保健師等	0	0
事業主	産業医	0	0
	保健師等	0	0

	予算額 (千円) (平成27年度 注)	被保険者一人当たり金額 (円)	
保 健 事 業 費	特定健康診査事業費	112,500	1,452
	特定保健指導事業費	8,208	106
	保健指導宣伝費	114,470	1,477
	疾病予防費	1,185,947	15,303
	体育奨励費	38,319	494
	直営保養所費	47,733	616
	その他	69,688	899
	小計 …a	1,576,865	20,347
	経常支出合計 (千円) …b	29,193,290	
	a/b×100 (%)		5.40

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

健保組合の取組													
予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定健康診査事業	1	特定健康診査	【目的】メタボリックシンドロームを抱える者の発見 【概要】40歳以上の加入者に対し、当組合が実施している健診に併せて実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	全員	受診者数 16,635名 実施率 56.3% (平成26年度・平成27年1月末までの集計分)	組合で実施の生活習慣病健診、簡易生活習慣病健診、人間ドックに組み込んで実施している。	被扶養者の受診率が伸びない。	4	
	3	特定保健指導	【目的】特定健診の結果、「動機付け支援」「積極的支援」の対象となった者に対し、専門的知識及び技術を有する者が保健指導を行い、対象者自らが健康状態を自覚し、生活習慣の改善に係る自主的な取り組みを行うようにする 【概要】「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準」第7条・第8条の規定内容を健保会館、契約健診機関、事業所巡回等の方法により実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	基準該当者	【動機付け支援】 実施者数 98名 実施率 9.20% 【積極的支援】 初回面談 274名 終了者数 34 終了率 12.40% 脱落者数 48 (平成26年度・平成27年1月末の集計分)	一部の契約健診機関に業務委託して実施。	指導を受ける者が少ない。 (保険者には実施義務があるが、支援対象となった者には指導を受ける義務がない。よって、保険者からアプローチしても指導対象者からの反応が非常に弱い。)	2	
	4	健保ニュース	【目的】健康保険に関する広報・宣伝 【概要】機関紙の発行	被保険者 被扶養者	全て	男女	15 ~ 74	全員	年4回発行。 事業所を経由して被保険者に配付。	本社一括をはじめ支店、店舗ごとに細分化し発送。	被扶養者との情報共有が乏しい。 (被保険者が自宅に持ち帰っていない可能性が高い。)	4	
	4	育児資料配付	【目的】健康教育 【概要】1年目：13回/年 2年目：4回/年	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~ 74	全員	出産した者を対象に2年間育児指導書を定期的に発送。	-	-	4	
保健指導宣伝	7	健康管理事業推進委員会	【目的】保健事業の中長期にわたる企画立案、実施計画の策定、実施結果の分析・評価を行い、理事会に対し意見を提出する 【概要】委員15名	被保険者	全て	男女	15 ~ 74	全員	年2回開催。	-	-	3	
	7	健康管理委員研修会	【目的】健康管理委員の資質向上 【概要】研修会を開催	被保険者	全て	男女	15 ~ 74	全員	有識者を講師に招き研修会を開催。 年1回。	-	-	4	
	4	医療費通知	【目的】健康教育 【概要】事業所経由で発送	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	基準該当者	年2回発送。	受診した医療機関や医療費の額をお知らせ。	-	3	
	4	ジェネリック通知	【目的】健康教育 【概要】事業所経由で発送	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	基準該当者	年4回発送。	対象者に後発医薬品の利用促進を行う。	-	4	

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

	7	健康者表彰	【目的】健康に関する意識を高めてもらう 【概要】直近1年・5年・10年間医療給付を受けなかった者を表彰	被保険者	全て	男女	16	～	74	基準 該当者	該当者に記念品を進呈。			3
	1	生活習慣病健診	【目的】被保険者等の健康の保持増進のための健康診査 【概要】健保会館、契約健診機関、巡回車健診で実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	35	～	74	全員	受診者数 22,000名 (平成27年3月末見込)	健保ニュース、HP等で告知。 自己負担なしで受診できる。	被扶養者の受診率が伸びない。	4
	1	簡易生活習慣病健診	【目的】被保険者等の健康の保持増進のための健康診査 【概要】健保会館、契約健診機関、巡回車健診で実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	15	～	74	全員	受診者数 35,900名 (平成27年3月末見込) 被扶養者は20～74歳が対象。	健保ニュース、HP等で告知。 自己負担なしで受診できる。	被扶養者の受診率が伸びない。	4
	1	人間ドック	【目的】被保険者等の健康の保持増進のための健康診査 【概要】健保会館、契約健診機関で実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	全員	受診者数 7,300人 (平成27年3月末見込)	健保ニュース、HP等で告知。		4
	1	婦人科検査	【目的】被保険者等の健康の保持増進のための健康診査 婦人科系疾病の有無の検査 【概要】健保会館、契約健診機関、巡回車健診で実施	被保険者 被扶養者	全て	女性	35	～	74	全員	組合契約健診機関とオプションにて 契約締結し実施。	健保ニュース、HP等で告知。 自己負担なしで受診できる。		4
疾病 予防	1	遠隔地健診補助金	【目的】被保険者等の健康の保持増進のための健康診査 【概要】「実施状況のとおり」	被保険者 被扶養者	全て	男女	15	～	74	全員	近隣に組合契約健診機関がない 者が任意で健診（生活習慣病健診、 簡易生活習慣病健診、人間ドック、 婦人科検査）を受けた場合、 所定の上限額の範囲内で健診費用を 補助。（被扶養者は20～74歳が 対象。） 対象者数 470名 (平成27年3月末見込)			3

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

	7	緊急疾病予防対策	【目的】季節的疾患を主眼とした予防対策 【概要】①感冒予防②インフルエンザ予防接種費用の補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	①事業所経由で感冒医薬品を配付。(対象者は被保険者。) ②1,500円を上限に補助。(接種者は健保会館及び指定の医療機関で接種した場合は1,500円を控除した接種料金を窓口で負担。それ以外で接種した場合は後日申請による償還払い。)	-	-	4	
	4	健康管理講座	【目的】健康教育 【概要】講座テーマに沿った講師を事業所に派遣	被保険者	全て	男女	15	～	74	全員	事業所に講師を派遣して講座を開催。 実施数 1 (平成27年1月末現在)	-	-	2	
	5	保健師健康相談	【目的】生活習慣の改善、向上 医療機関への受診勧奨 【概要】「実施状況」のとおり	被保険者 被扶養者	全て	男女	15	～	74	全員	面接(健保会館、事業所巡回車健診時)、文書、メール、電話に様々な媒体を駆使し展開。 て実施。	-	-	4	
	5	総合健康相談	【目的】生活習慣の改善、向上 医療機関への受診勧奨 【概要】健康管理等に関して専門家が相談に対応する	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	専用電話で相談を行う。また、メンタルに関する相談も電話、面接で実施。 電話相談は24時間体制のため時間の融通が利く。	-	-	3	
	7	潮干狩り	【目的】健康増進 【概要】潮干狩り	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	都内近郊で実施。	家族等の健康づくりに寄与。	-	-	4
	7	味覚狩り	【目的】健康増進 【概要】いちご狩り	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	都内近郊で実施。	家族等の健康づくりに寄与。	-	-	4
体 育 奨 励	7	ファミリーハイク	【目的】健康増進 【概要】東京ディズニーリゾート入園費用の一部補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	東京ディズニーリゾートにて実施。	家族等の健康づくりに寄与。	-	-	3
	7	健康増進施設	【目的】健康づくり 【概要】スポーツクラブの施設利用料補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	13	～	74	全員	セントラルスポーツ、コナミスポーツクラブの施設利用料を一部補助。	被保険者等の健康づくりに寄与。	-	-	3
	7	ウォークラリー	【目的】健康増進 【概要】指定されたコース中のチェックポイントでクイズやゲームに挑む	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	都内近郊にて実施。 平成26年度をもって中止。	-	-	3	

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

直営 保養所	7	保養所	【目的】健康増進 【概要】被保険者、被扶養者の保養や事業所の研修等に使用	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	(上 限なし)	全員	直営保養所1カ所。 (5健保組合共同事業) 新潟県魚沼市	被保険者、被扶養者の保養。	利用者数の経年的減少。 老朽化。	3
その他	7	契約保養所	【目的】健康増進 【概要】被保険者、被扶養者の保養に使用	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	(上 限なし)	全員	国内の契約施設利用。 ハワイコンドニアムの借上契約。	被保険者、被扶養者の保養。	-	4
	7	貸会議室	【目的】健康管理 【概要】「実施状況」のとおり	被保険者	全て	男女	15	～	74	全員	健保会館の1フロアを会議室として随時貸し出し。	-	-	3
(予 算 措 置 な し)														

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

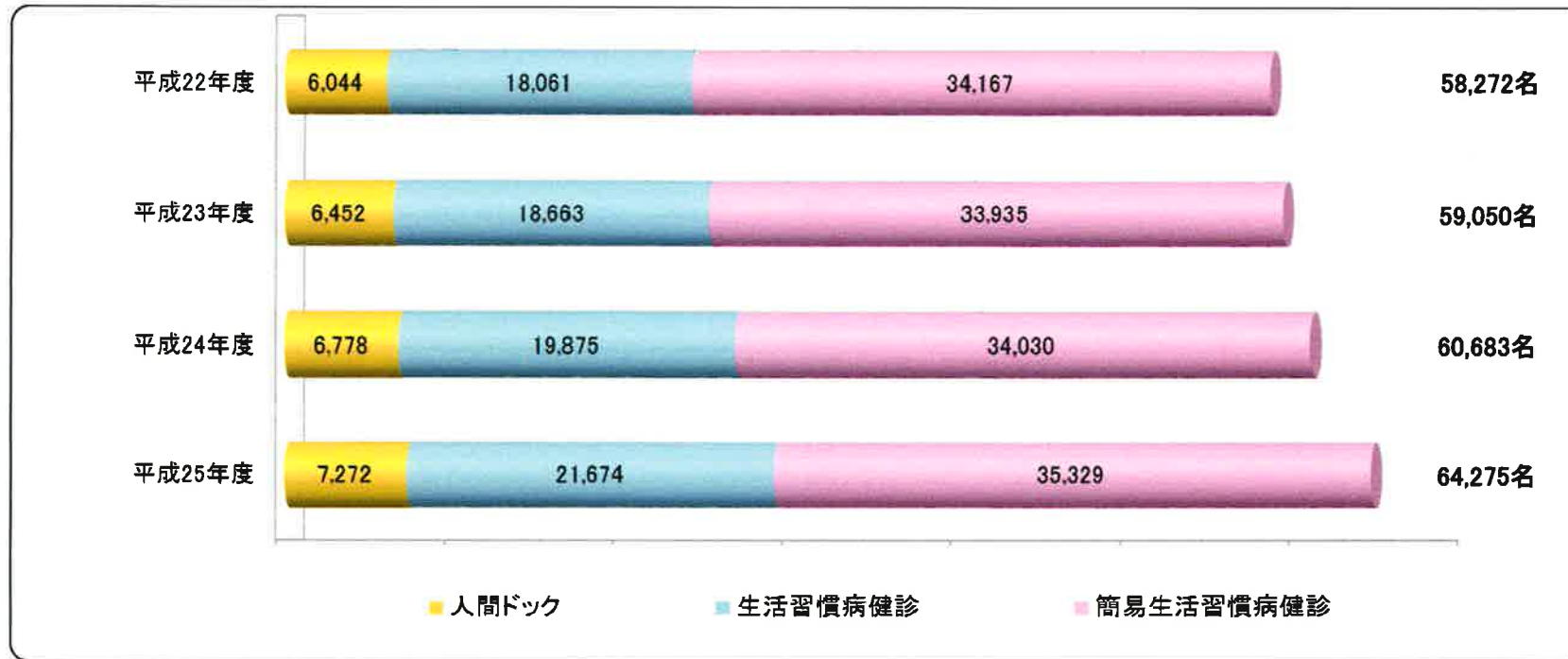
事業主の取組									
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施	
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
定期健康診断	労働安全衛生法に基づく健診	被保険者	男女	18	～	64			無

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

注2) 1: 39%以下 2: 40%以上 3: 60%以上 4: 80%以上 5: 100%以上

STEP 1 - 3 健康診査受診状況等

ア.健診受診者数の推移



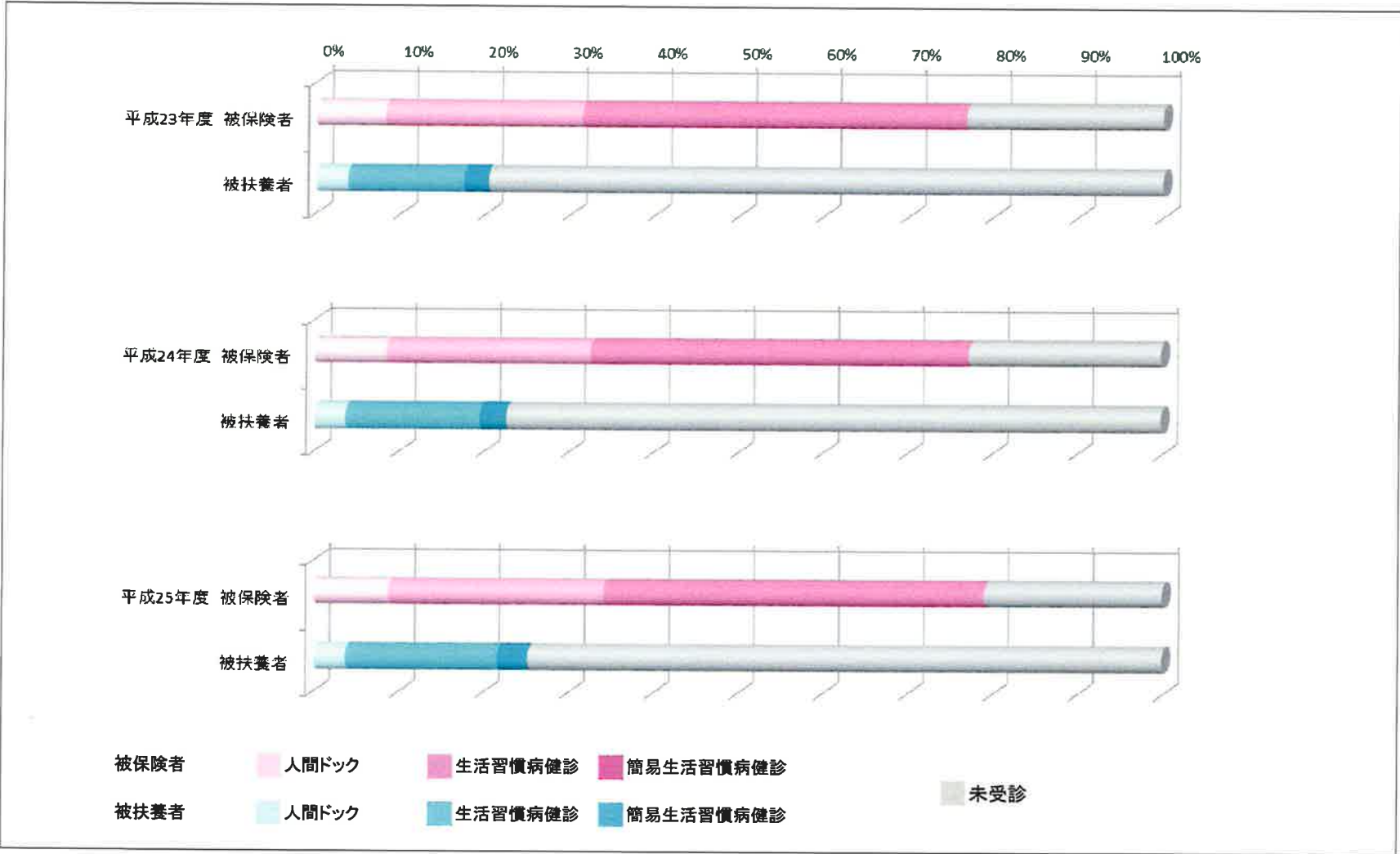
※各種健診人数には遠隔地健診補助金対象者及び婦人生活習慣病予防健診受診者を含む

健診種別 年度	人間ドック	生活習慣病健診	簡易生活習慣病健診	合計	前年比
平成22年度	6,044 名	18,061 名	34,167 名	58,272 名	—
平成23年度	6,452 名	18,663 名	33,935 名	59,050 名	778 名
平成24年度	6,778 名	19,875 名	34,030 名	60,683 名	1,633 名
平成25年度	7,272 名 (494 名)	21,674 名 (1,799 名)	35,329 名 (1,299 名)	64,275 名	3,592 名

()内は前年対比

STEP 1 - 3 健康診査受診状況等

イ.被保険者・被扶養者別健診実施内訳



STEP 1 - 3 健康診査受診状況等

イ.のグラフに関する数値

・被保険者、被扶養者別受診内訳

		人間ドック	生活習慣病健診	簡易生活習慣病健診	計	年度平均者数	受診率
平成23年度	被保険者	6,046 名	17,162 名	33,624 名	56,832 名	73,953 名	76.8%
	被扶養者	406 名	1,501 名	311 名	2,218 名	10,894 名	20.4%
平成24年度	被保険者	6,371 名	18,140 名	33,682 名	58,193 名	75,232 名	77.4%
	被扶養者	407 名	1,735 名	348 名	2,490 名	10,973 名	22.7%
平成25年度	被保険者	6,845 名	19,654 名	34,927 名	61,426 名	77,635 名	79.1%
	被扶養者	427 名	2,020 名	402 名	2,849 名	11,273 名	25.3%

・年度別未受診者数

		未受診者数	未受診者 計
平成23年度	被保険者	17,121 名	25,797 名
	被扶養者	8,676 名	
平成24年度	被保険者	17,039 名	25,522 名
	被扶養者	8,483 名	
平成25年度	被保険者	16,209 名	24,633 名
	被扶養者	8,424 名	

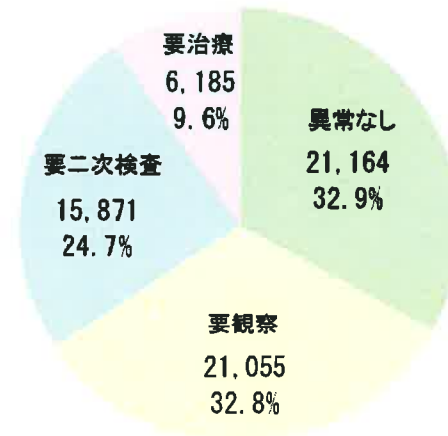
・年度別受診率

	年度別受診者数	年度平均加入者数	受診率
平成23年度	59,050 名	84,847 名	69.6%
平成24年度	60,683 名	86,205 名	70.4%
平成25年度	64,275 名	88,908 名	72.3%

STEP 1 - 3 健康診査受診状況等

ウ.平成25年度 健診結果判定内訳

全体



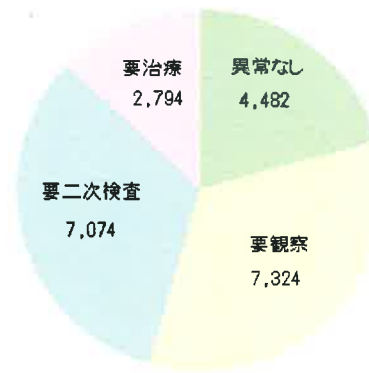
合計 = 64,275名

人間ドック



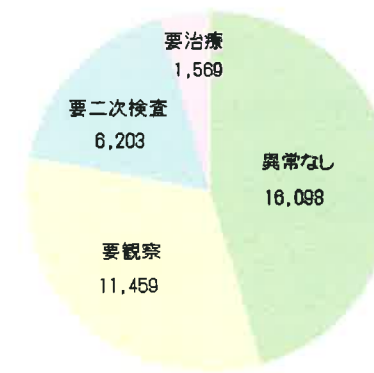
合計 = 7,272名

生活習慣病健診



合計 = 21,674名

簡易生活習慣病健診

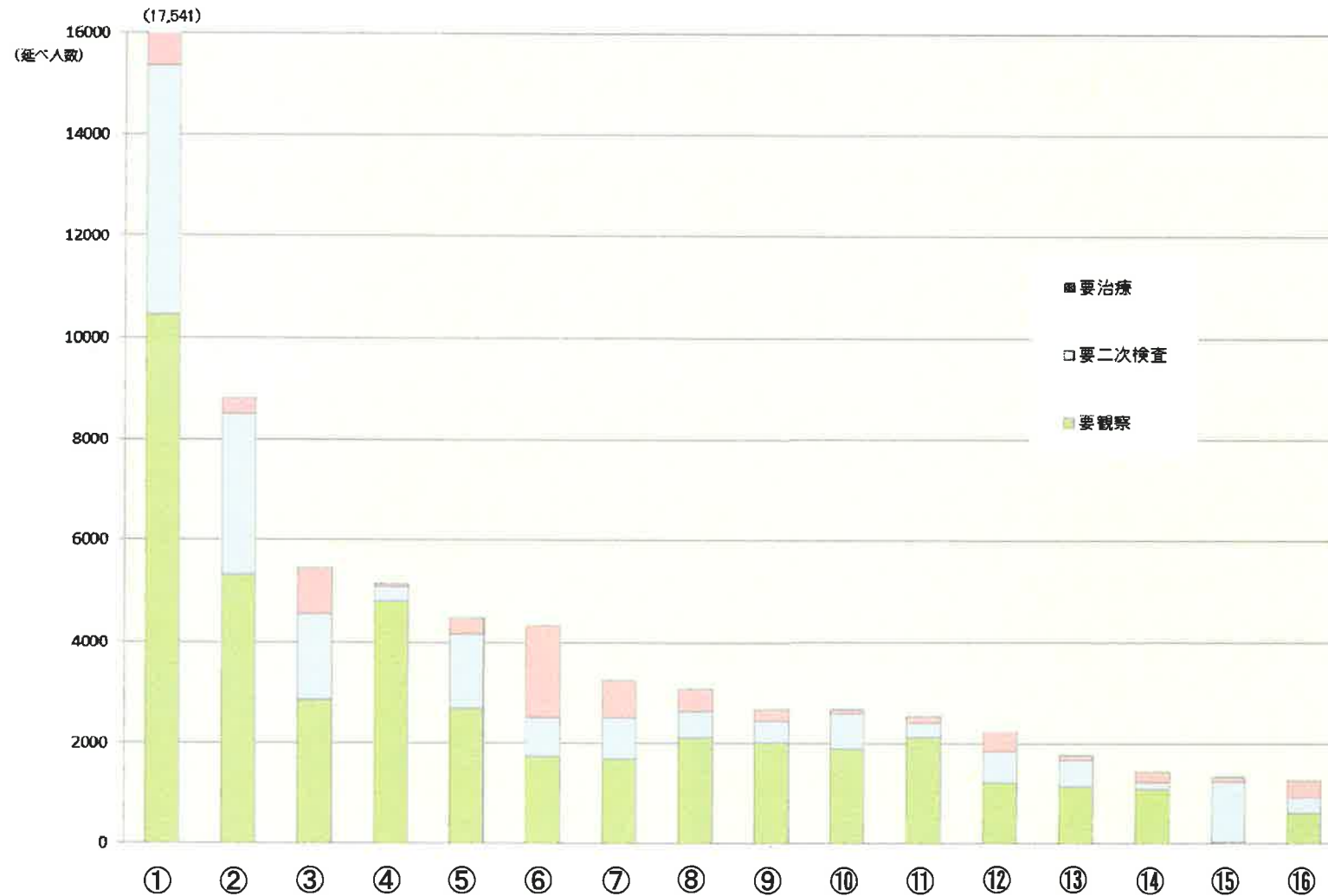


合計 = 35,329名

STEP 1 - 3 健康診査受診状況等

エ.平成25年度 検査項目別有所見内訳

(ドック・生活習慣病健診・簡易生活習慣病健診受診者を検査項目別で分類し、要治療、要二次検査、要観察を有した者の人数を示した。)



STEP 1 - 3 健康診査受診状況等

エ.のグラフに関する数値

	① 脂質代謝	② 肝機能	③ 血液検査	④ 眼科	⑤ 腎機能	⑥ 血圧	⑦ 糖尿病検査	⑧ 乳房	⑨ 心電図	⑩ 胃部X線	⑪ 超音波検査	⑫ 尿酸	⑬ 胸部X線
要治療	(名) 2,174	(名) 287	(名) 901	(名) 49	(名) 315	(名) 1,808	(名) 733	(名) 453	(名) 237	(名) 73	(名) 129	(名) 385	(名) 94
要二次検査	4,916	3,190	1,692	290	1,448	764	822	515	430	706	289	642	527
要観察	10,451	5,333	2,872	4,797	2,713	1,749	1,693	2,127	2,020	1,895	2,134	1,214	1,137
受診者数	61,069	60,433	40,195	45,667	60,438	60,242	58,007	17,607	29,132	16,398	5,728	59,803	58,225
有所見率 ^{※1}	28.7 %	14.6 %	13.6 %	11.2 %	7.4 %	7.2 %	5.6 %	17.6 %	9.2 %	16.3 %	44.6 %	3.7 %	3.0 %
要受診率 ^{※2}	11.6 %	5.8 %	6.5 %	0.7 %	2.9 %	4.3 %	2.7 %	5.5 %	2.3 %	4.8 %	7.3 %	1.7 %	1.1 %

	⑭ 聴力	⑮ 便潜血	⑯ 子宮
要治療	(名) 228	(名) 88	(名) 364
要二次検査	123	1,194	294
要観察	1,088	39	605
受診者数	53,787	24,627	13,793
有所見率 ^{※1}	2.7 %	5.4 %	9.2 %
要受診率 ^{※2}	0.7 %	5.2 %	4.8 %

※1 有所見率：要治療+要二次検査+要観察件数／受診者数

(健診結果にて何らかの所見があり、経過観察の必要がある、あるいは治療・二次検査のため、医療機関を受診する必要があると診断された者の割合)

※2 要受診率：要治療+要二次検査件数／受診者数

(健診結果にて何らかの所見があり、治療・二次検査のために医療機関を受診する必要があると診断された者の割合)

STEP 2 健康課題の抽出

「全健保組合共通様式」

基本分析による現状把握から見える主な健康課題

ウ 平成25年度の健診結果より要治療者が全体の9.6%となっており、その内訳は血圧や脂質等、生活習慣病関連が多い。

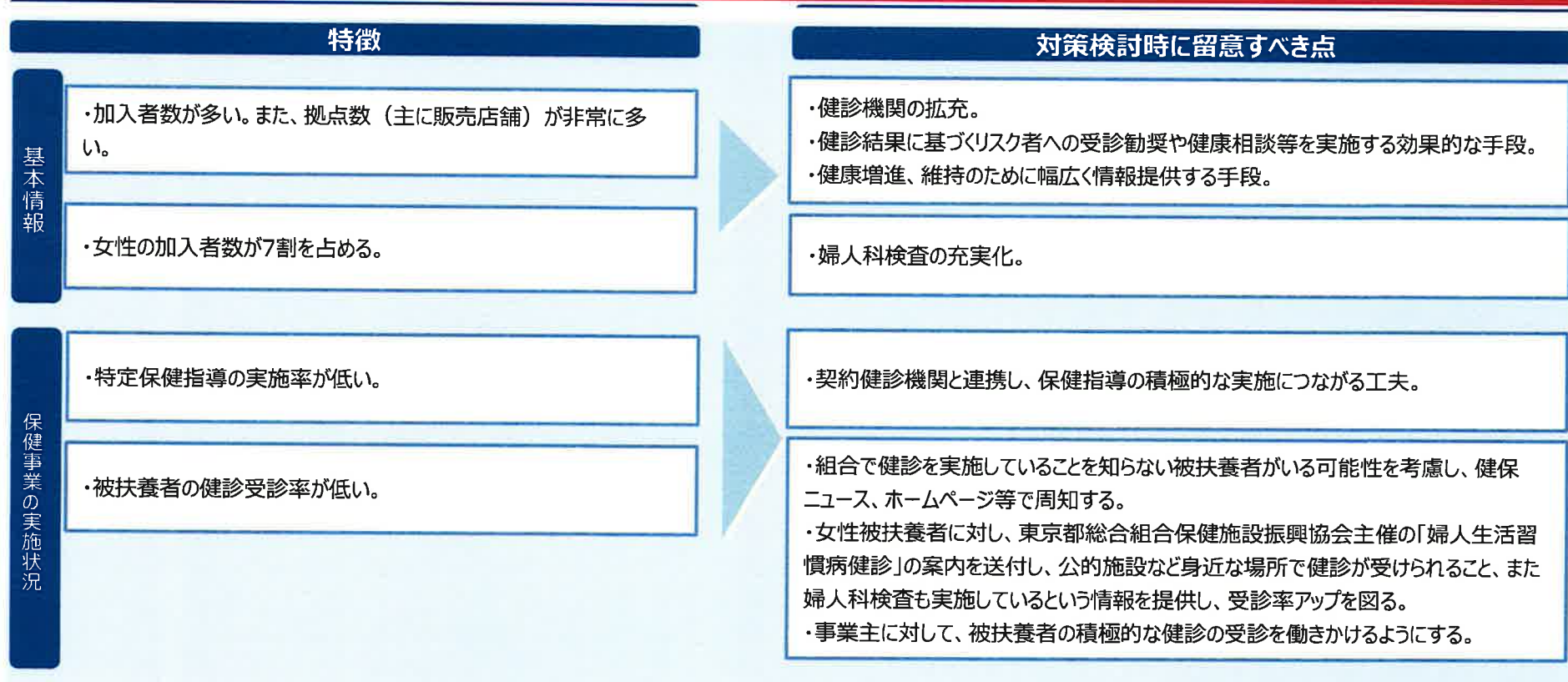


対策の方向性

要治療者に対し医療機関への受診勧奨や生活習慣の改善についてアドバイスすることが必要であるが、事業所の拠点が全国に点在していることを考慮すると、対象者との直接的な関与が非常に困難なため、文書による受診勧奨等を行い、医療機関への受診率アップ、検査数値等の改善を図る。

STEP 2 健康課題の抽出

「全健保組合共通様式」



STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施	実施計画			目標(達成時期:平成29年度末)	
			資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム

職場環境の整備

保健指導宣伝	4	既存	保健事業案内	【目的】組合が年度を通じて実施する保健事業を冊子で案内 【概要】事業主に送付	被保険者	全て	男女	15 ~ 74	全員	1	健診の受診方法、体育奨励事業、保養所の利用方法等の保健事業に係る案内を事業主に送付。事業主、事務担当者経由で被保険者に告知し、組合の実施している保健事業を把握してもらい、保健事業への積極的な参加につながるよう取り組む。	継続		継続	保健事業全般の周知。	被保険者の保健事業への参加。
--------	---	----	--------	---	------	----	----	---------	----	---	---	----	--	----	------------	----------------

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	7	既存	健保ニュース	【目的】健康保険に関する広報・宣伝 【概要】機関紙の発行	被保険者 被扶養者	全て	男女	15 ~ 74	全員	1	健康保険制度・健保組合事業の広報等。	継続		継続	制度・事業(計画)の周知。	円滑な事業運営。
	7	既存	医療費通知	【目的】健康教育 【概要】事業所経由で発送	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	基準対象者	1	年2回、該当者に通知。	継続		継続	対象者に医療費及び組合の現状を知ってもらう。	医療費節減。
	7	既存	シネリック通知	【目的】健康教育 【概要】事業所経由で発送	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	基準対象者	1	該当者に現在使用の医薬品と後発医薬品との差額案内をし、薬剤費の節減を図る。	継続		継続	後発医薬品への切り替え。	薬剤費節減。

個別の事業

特定健康診査事業	1	既存(法定)	特定健康診査	【目的】メタボリックシンドロームを抱える者の発見 【概要】40歳以上の加入者に対し、当組合が実施している健診に併せて実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	全員	1	各種広報媒体を活用し、受診率75%以上を目標とする。	各種広報媒体を活用し、受診率80%以上を目標とする。	各種広報媒体を活用し、受診率85%以上を目標とする。	受診率85%以上。	特定保健指導対象者数の増加。	
特定保健指導事業	3	既存(法定)	特定保健指導	【目的】特定健康診査の結果、「動機付け支援」「積極的支援」の対象となった者に対し、専門的知識及び技術を有する者が保健指導を行い、対象者自らが健康状態を自覚し、生活習慣の改善に係る自主的な取り組みを行うようにする 【概要】「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準」第7条・第8条の規定内容を健保会館、契約健診機関、事業所巡回等の方法により実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	基準対象者	1	特定健診直後の指導を積極的に導入し、実施率20%・実施者数500人を目標とする。	特定健診直後の指導を積極的に導入し、実施率25%・実施者数700人を目標とする。	特定健診直後の指導を積極的に導入し、実施率30%・実施者数900人を目標とする。	実施率30%・実施者数900人以上。	メタボリックシンドローム該当者+予備軍の減少。	
保健指導宣伝	4	既存	育児資料配付	【目的】健康教育 【概要】1年目:13回/年 2年目4回/年	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~ 74	全員	1	出産した者に2年間定期的に指導書を配付	継続		継続	-	-
保健指導宣伝	7	既存	健康管理事業推進委員会	【目的】保健事業の中長期的にわたる企画立案、実施評価の策定、実施結果の分析・評価を行い、理事会に対し意見を提出する 【概要】委員15名	被保険者	全て	男女	15 ~ 74	全員	1	年2回、健康管理事業推進委員を参集し会議を開催。健康管理事業の充実化を図る。	継続		継続	健康管理事業の充実。	-
	7	既存	健康管理委員研修会	【目的】健康管理委員の資質向上 【概要】研修会を開催	被保険者	全て	男女	15 ~ 74	全員	1	年1回、有識者を講師に招き研修会を開催。	継続		継続	健康管理委員の資質向上。	-

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施	実施計画			目標（達成時期：平成29年度末）	
			資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム
7	健康者表彰	【目的】健康に関する意識を高めてもらう 【概要】直近1年・5年・10年間医療給付を受けなかった者を表彰	被保険者	全て	男女	16 ~ 74	基準対象者	1	該当者に記念品を進呈。	継続	継続	-	-
1	生活習慣病健診	【目的】被保険者の健康の保持増進のための健康診査 【概要】健保会館、契約健診機関、巡回車健診で実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	35 ~ 74	全員	1	健保会館、契約健診機関、巡回車健診で年度内1回、費用を全額補助のうえ実施。 健診機関と新規契約し拡充を図る。 該当者全員の受診に向け、あらゆる広報媒体を使って受診率向上を図る。	継続	継続	有所見者の早期発見、早期治療、重症化防止。	被保険者等の健康維持、医療費節減。
1	簡易生活習慣病健診	【目的】被保険者の健康の保持増進のための健康診査 【概要】健保会館、契約健診機関、巡回車健診で実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	15 ~ 74	全員	1	健保会館、契約健診機関、巡回車健診で年度内1回、費用を全額補助のうえ実施。（被扶養者は20～74歳が対象。） 健診機関と新規契約し拡充を図る。 該当者全員の受診に向け、あらゆる広報媒体を使って受診率向上を図る。	継続	継続	有所見者の早期発見、早期治療、重症化防止。	被保険者等の健康維持、医療費節減。
1	人間ドック	【目的】被保険者等の健康の保持増進のための健康診査 【概要】健保会館、契約健診機関で実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	全員	1	健保会館、契約健診機関で年度内1回、費用の一部を補助して実施。 健診機関と新規契約し拡充を図る。	継続	継続	有所見者の早期発見、早期治療、重症化防止。	被保険者等の健康維持、医療費節減。
1	婦人科検査	【目的】被保険者等の健康の保持増進のための健康診査 婦人科系疾病の有無の検査 【概要】健保会館、契約健診機関、巡回車健診で実施	被保険者 被扶養者	全て	女性	35 ~ 74	全員	1	健保会館、契約健診機関、巡回車健診で希望オプションにて年度内1回、費用を全額補助のうえ実施。	継続	継続	有所見者の早期発見、早期治療、重症化防止。	被保険者等の健康維持、医療費節減。
疾病予防	1	遠隔地健診補助金	被保険者 被扶養者	全て	男女	15 ~ 74	全員	1	近隣に組合契約健診機関がない者が任意に健診（生活習慣病健診、簡易生活習慣病健診、人間ドック、婦人科検査（オプション））を受診した場合、所定の上限額の範囲内で健診費用を補助。 （被扶養者は20～74歳が対象。）	継続	継続	有所見者の早期発見、早期治療、重症化防止。	被保険者等の健康維持、医療費節減。
7	緊急疾病予防対策	【目的】季節的疾患を主眼とした予防対策 【概要】①感冒予防②インフルエンザ予防接種費用の補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	①事業所経由で感冒医薬品を配付。（対象者は被保険者。） ②1,500円を上限に補助。（接種者は健保会館及び指定の医療機関で接種した場合は1,500円を控除した接種料金を窓口で負担。それ以外で接種した場合は後日申請による償還払い。）	継続	継続	①感冒予防。 ②インフルエンザ感染による重症化予防。	-

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

子 科 目	事 業 名	事業の目的および概要	対象者					実 施 手 数	実施計画			目標(達成時期:平成29年度末)	
			資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム
体 育 奨 励	4 既存 健康管理講座	【目的】健康教育 【概要】講座テーマに沿った講師を事業所に派遣	被保険者	全て	男女	15 ~ 74	全員	1	事業所に講師を派遣して講座を開催。 被保険者の健康向上を図る。	継続	継続	健康管理講座の開催。	被保険者の健康に対する意識の向上。
	5 既存 保健師健康相談	【目的】生活習慣の改善、向上 医療機関への受診勧奨 【概要】平成27年度「実施計画」のとおり	被保険者 被扶養者	全て	男女	15 ~ 74	全員	1	面接（健保会館、事業所巡回車健診時）、文書、メール、電話にて実施。	継続	継続	生活習慣の改善、向上。 医療機関への受診勧奨。	対象者の生活習慣の改善、向上。
	5 既存 総合健康相談	【目的】生活習慣の改善、向上 医療機関への受診勧奨 【概要】健康管理等に関して専門家が相談に対応	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	専用電話で相談を行う。またメンタルに関する相談も電話、面接で実施。	継続	継続	相談者の相談内容の解決、改善。	-
	3 新規 文書による医療機関への受診勧奨事業	【目的】生活習慣病の発症・重症化防止 【概要】健診データ・レセプトデータから、生活習慣病のリスクを抱えているにもかかわらず医療機関未受診の者に対し、文書にて受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	15 ~ 74	全員	1	・高リスク者を対象に実施。 ・健保ニュースに具体的な実施方法を告知。 ・文書にアンケートを同封し、その回答から傾向を把握し、次年度への対策を練る。 ・統計を取り、次年度の対策を練る。 ・実施予定者数1,000人。	・中～高リスク者を対象に実施。 ・平成27年度のアンケート、統計を基に実施方法の充実に努める。 ・実施予定者数1,000人。	・中～高リスク者を対象に実施。 ・次期データヘルス事業に向けて更なる充実を図る。 ・実施予定人数1,000人。	実施者数1,000人以上。	生活習慣病発症者の減少。
	7 既存 潮干狩り	【目的】健康増進 【概要】潮干狩り	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	都内近郊で実施。	継続	継続	参加予定者全員の参加。	自ら「健康づくり」行動を実行。
	7 既存 味覚狩り	【目的】健康増進 【概要】いちご狩り	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	都内近郊で実施。 (いちご狩り)	継続 (果樹を変更して実施)	継続 (果樹を変更して実施)	参加予定者全員の参加。	自ら「健康づくり」行動を実行。
	7 既存 ファミリーハイク	【目的】健康増進 【概要】東京ディズニーリゾート入園費用の一部補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	東京ディズニーリゾート入園料の一部補助。	継続	継続	参加予定者全員の参加。	自ら「健康づくり」行動を実行。
直 営 保 養 所	7 既存 健康増進施設	【目的】健康づくり 【概要】スポーツクラブの施設利用料補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	13 ~ 74	全員	1	セントラルスポーツ、コナミスポーツクラブの施設利用料を一部補助。	継続	継続	健康増進、健康維持への利用促進。	-
	7 既存 保養所	【目的】健康増進 【概要】被保険者、被扶養者の保養や事業所の研修等に使用	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 限なし	全員	1	被保険者、被扶養者の保養に提供。健保ニュース、ホームページ等で利用促進する。	継続	継続	全被保険者に利用案内。	保養所存在意義の理解。 (100%)
	7 既存 契約保養所	【目的】健康増進 【概要】被保険者、被扶養者の保養に使用	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 限なし	全員	1	被保険者、被扶養者の保養に提供。 国内の契約施設利用。 ハワイコンドミアムの借上契約。	継続	継続	全被保険者に利用案内。	保養所存在意義の理解。 (100%)

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業